
3. 調査結果の概要

3. 調査結果の概要

本章では、調査結果について、その概要をまとめた。

1. ワーク・ライフ・バランスの認知度及び興味

1-1. ワーク・ライフ・バランスの認知度は高いとはいえないが、約6割は興味を抱いている

ワーク・ライフ・バランスの言葉も内容も知らない方が75.6%となっており、認知度は高いとはいえない。

しかし、ワーク・ライフ・バランスの内容を説明した上で興味の有無をたずねると、57.4%の方が興味を示しており、興味を持たない方を上回った。

ワーク・ライフ・バランスの認知度

項目	件数	構成比
言葉も内容も知っている	1,526	14.5%
言葉は知っているが内容は知らない	1,040	9.9%
言葉も内容も知らない	7,957	75.6%
無回答	0	0.0%
サンプル数	10,523	100.0%

ワーク・ライフ・バランスへの興味の有無

項目	件数	構成比
興味を持ってそう、興味がある	6,038	57.4%
興味を持たない	4,466	42.4%
無回答	19	0.2%
サンプル数	10,523	100.0%

1-2. ワーク・ライフ・バランスについて、興味を抱いている割合が高い世代は30代女性

さらにこの結果を性別・年代別にみると、「20歳未満」では女性の関心が男性よりも高く、約半数が興味を持っている。男女ともに、20代から50代にかけての働く年代ではおしなべて関心が高い。その中でも「女性・30代」は関心を持つ割合が高く、73.6%が「興味を持ってそう、興味がある」としている。

ワーク・ライフ・バランスへの興味の有無（性別・年代別）

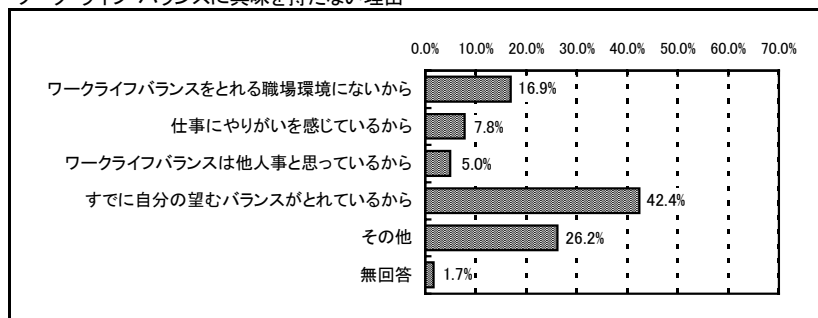
	男性				女性				
	合計	興味を持って あそ	興味を持た ない	無 回 答	合計	興味を持って あそ	興味を持た ない	無 回 答	
男性合計	5,295 100.0%	2,950 55.7%	2,337 44.1%	8 0.2%	女性合計	5,228 100.0%	3,088 59.1%	2,129 40.7%	11 0.2%
20歳未満	378 100.0%	154 40.7%	224 59.3%	-	20歳未満	401 100.0%	206 51.4%	195 48.6%	-
20代	783 100.0%	441 56.3%	341 43.6%	1 0.1%	20代	1,028 100.0%	688 66.9%	339 33.0%	1 0.1%
30代	1,076 100.0%	721 67.0%	353 32.8%	2 0.2%	30代	1,074 100.0%	791 73.6%	282 26.3%	1 0.1%
40代	1,184 100.0%	742 62.7%	442 37.3%	-	40代	958 100.0%	585 61.1%	369 38.5%	4 0.4%
50代	1,018 100.0%	541 53.1%	474 46.6%	3 0.3%	50代	883 100.0%	474 53.7%	407 46.1%	2 0.2%
60歳以上	856 100.0%	351 41.0%	503 58.8%	2 0.2%	60歳以上	884 100.0%	344 38.9%	537 60.7%	3 0.3%

※表中、斜体の数値は、各層別に最も多かった回答を表す(その他を除く)

1-3. ワーク・ライフ・バランスに興味を持たない大きな理由は「すでに自分のバランスがとれているから」

ワーク・ライフ・バランスに興味を持たない方に対してその理由をたずねたところ、「すでに自分のバランスがとれているから」が約4割を占めた。

ワーク・ライフ・バランスに興味を持たない理由

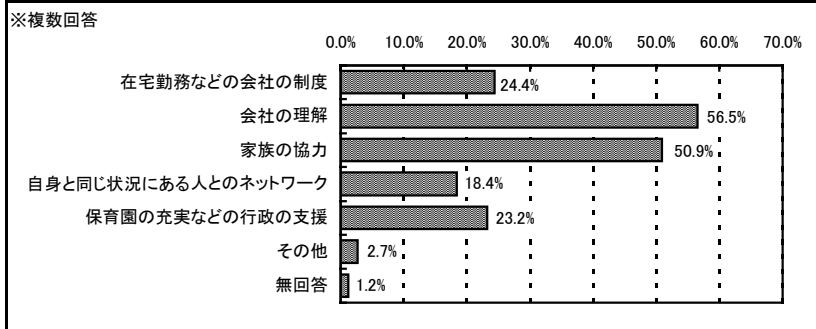


2. ワーク・ライフ・バランスの実現

2-1. ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なことは「会社の理解」と「家族の協力」

ワーク・ライフ・バランスに興味を持つ方に対して、ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なことをたずねたところ、「会社の理解」、「家族の協力」が、過半数の方から挙げられた。

ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なこと

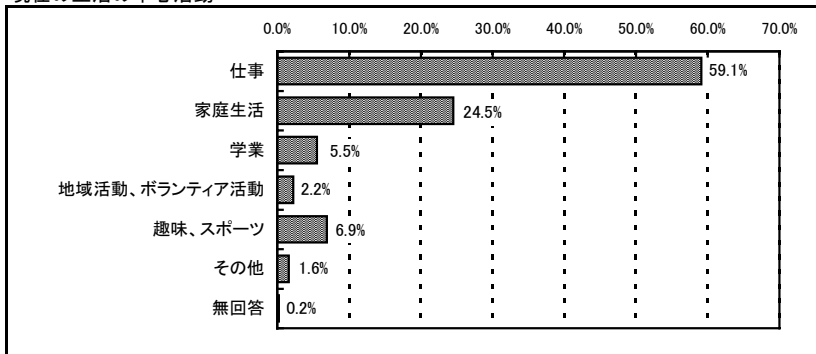


3. 現在の生活の中心活動

3-1. 現在の生活の中心活動は、「仕事」が約6割を占め、次いで「家庭生活」の順となっている

現在の生活の中心活動は「仕事」が約6割で最も高い割合となっている。次いで「家庭生活」の順となった。「地域活動、ボランティア活動」や「趣味、スポーツ」を挙げた方は1割に満たなかった。

現在の生活の中心活動

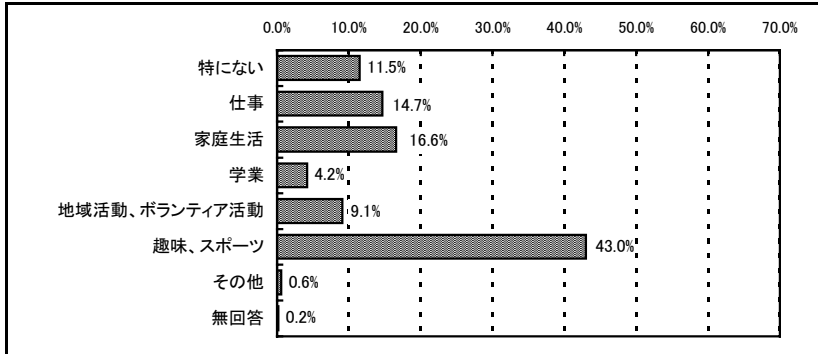


4. より充実させたい活動等

4-1. 今後、より充実させたい活動は、「趣味、スポーツ」が約4割を占める

今後、より充実させたい活動として、「趣味、スポーツ」を挙げる方が最も多く約4割となった。現在の生活の中心活動で多かった「仕事」や「家庭生活」は、それぞれ2割未満にとどまっている。

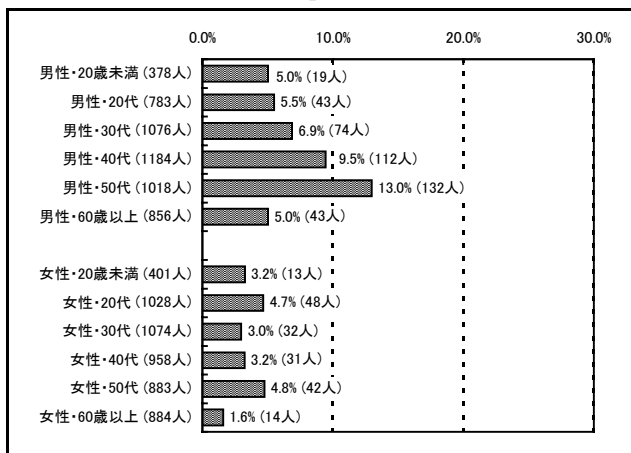
今後、より充実させたい活動



4-2. 50代の男性は、今の中心活動は「仕事」で今後の希望は「特にない」方の割合が高い

現在の生活中心活動を「仕事」、より充実させたい活動を「特にない」と回答した方の割合は、「男性・50代」で13.0%、「男性・40代」でも9.5%となっており、他に比べ、割合が高い。

現在の生活の中心活動を「仕事」、今後、より充実させたい活動を「特にない」と回答した層（性別・年代別）

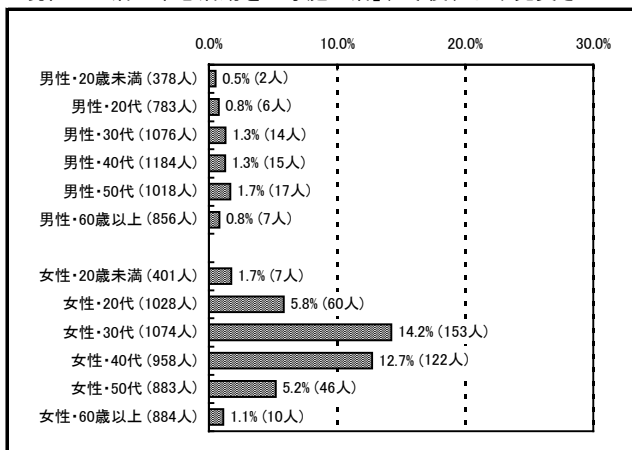


※グラフ中の数値は、各属性(性別・年代)に占める、「Q5:仕事、Q6:特にない」と回答した人の構成比及び人数をあらわす

4-3. 30代から40代の女性は、今の中心活動は「家庭生活」で、今後の希望は「仕事」と回答した方の割合が高い

現在の生活中心活動を「家庭生活」、より充実させたい活動を「仕事」と回答した方の割合は、「女性・30代」で14.2%、「女性・40代」でも12.7%となっており、他に比べ、割合が高い。

現在の生活の中心活動を「家庭生活」、今後、より充実させたい活動を「仕事」と回答した層（性別・年代別）



※グラフ中の数値は、各属性(性別・年代)に占める、「Q5:家庭生活、Q6:仕事」と回答した人の構成比及び人数をあらわす

5. より充実させたい活動の阻害要因

5-1. より充実させたい活動を実現しづらくしている要因を、「仕事」とする方が約3割を占める

より充実させたい活動を実現していくにあたって、実現を阻害する要因をたずねた。

阻害する要因として最も高い割合を占めたのは「仕事」となっており、約3割が阻害する要因としている。

なお、最も多かった回答は「特にない」とする回答で、約4割であった。

今後の生活の中心活動の阻害要因

